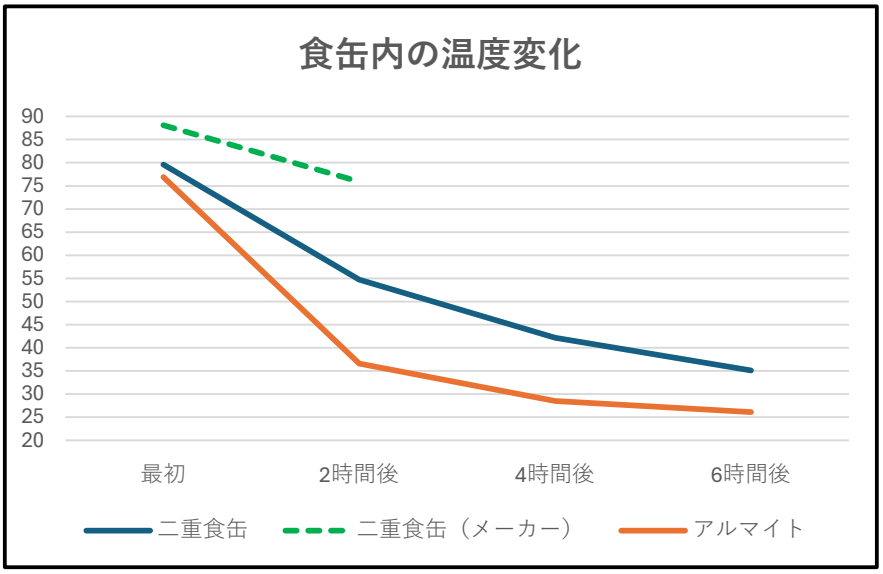
二重食缶（4ℓ）とアルマイト食缶による性能調査結果

種類	最初	2時間後	4時間後	6時間後
二重食缶	79.6	54.7	42.2	35.1
二重食缶（メーカー）	88.1	75.9		
アルマイト	76.9	36.6	28.5	26.1



＜調査方法＞

●厚田・浜益への給食を提供する際使用する予定の食缶（二重食缶）と現在厚田学校給食センターで使用しているアルマイト食缶で比較しました。

●内容は水を1ℓずつ入れ、表面温度計により温度測定をしました。

※グラフの緑色の線はメーカーによる二重食缶の性能試験結果（以下、メーカー試験）によるもの。10ℓの食缶に豚汁8ℓを入れて実施。

＜結果・考察＞

●2時間後の温度変化は、二重食缶では24.9度下がり、アルマイト食缶では40.3度下がりました。

●4時間後の温度変化は、二重食缶では初期温度から37.4度下がり、アルマイト食缶では48.4度下がりました。

●グラフでみると、二重食缶は緩やかに下降していましたが、アルマイト食缶は2時間後には室温に近いところまで一気に下降し、その後は室温に近づいていきました。

●二重食缶の方がアルマイト食缶よりも性能が良い結果が得られました。

※メーカー試験では88.1度から開始し、2時間後75.9度（芯温が12.2度下降）の提示。